

議会だより

第 50 号

2017. 11 月

発行 / 八幡浜市議会

～平成 29 年 9 月臨時会・定例会号～



議長に新宮議員、副議長に石崎議員が就任



新宮康史 議長

今「あれもこれも」の時代は終わり、「あれかこれか」必要なものだけが残される厳しい時代になりました。私たち市議はこんな時こそ初心に帰り、皆さんに寄り添い、市民目線、市民ファーストで活動をし、その情報を市政に反映、安心・安全に暮らせる、日々の延長線上に位置する議会を形成して参りたいと思っています。



石崎久次 副議長

今、社会は地域間格差・貧富の格差がさらに進んでおります。私は弱者と言われる方々に寄り添う事が政治の原点であると考えております。初心を忘れず、この政治方針のもと、市政発展のため、邁進してまいります。

浜っ子
ファースト!



山本 儀夫 議員

あの人もこの人も、
そぞろ歩く港町・八
幡浜の実現!



大山 政司 議員

21年の行政経験を活
かし、政策実践で一
生懸命頑張ります。



高橋 時英 議員

委員会の構成

去る9月4日、市議会議員選挙後最初の臨時議
会が開催され、3常任委員会委員の選任及び議会
運営委員会委員の選任等が行われました。

委員の構成については、下記のとおりとなっ
ております。

皆さんの声を市政に
届け、実現目指して
頑張ります。



遠藤 綾 議員

民生文教委員会

- | | | |
|----|-----|-----|
| 委員 | 副委員 | 委員 |
| 長 | 長 | 員 |
| 河野 | 竹内 | 高橋 |
| 裕明 | 秀英 | 西橋 |
| 保 | 規 | 佐々木 |
| | | 加代子 |
| | | 大石 |
| | | 平家 |
| | | 山崎 |
| | | 政久 |
| | | 司次 |

総務産業委員会

- | | | |
|----|-----|----|
| 委員 | 副委員 | 委員 |
| 長 | 長 | 員 |
| 樋田 | 遠藤 | 菊池 |
| 都 | 彰 | 史 |
| | | 新宮 |
| | | 池田 |
| | | 上田 |
| | | 井上 |
| | | 宮本 |
| | | 山本 |
| | | 儀明 |
| | | 夫裕 |

各々の夢や希望が叶
うように、誠実に真
摯に行動します。



菊池 彰 議員

民生文教副委員長と
して、しっかりと頑張
ります。



竹内 秀明 議員

小さな声を聴く力を
大切に、しっかりと
働いてまいります。



佐々木 加代子 議員

1期目の反省を踏ま
え、2期目の議員と
して頑張ります。



西山 一規 議員

確かな八幡浜を育むために、直球勝負で市政に臨む。



上田浩志 議員

誠心誠意！それが私の生き方です。



井上和浩 議員

地域経済の活性化に全力投球…当選来のスローガンです。



宮本明裕 議員

愚直に一步一步、人の道を外さずに生きる。



新宮康史 議長

4年間の議員生活に向けて

八幡浜市議会は、平成29年9月4日に臨時議会を開き、議長に新宮康史議員、副議長に石崎久次議員を選出しました。

これから4年間、より良い八幡浜市を目指し、各議員が掲げた努力目標に向けて、積極的に活動を展開していきます。

市民の小さな声に、常にやさしい心で向かい合います。



樋田都 議員

議会運営委員会

- 委員長 大山政司
- 副委員長 上山浩志
- 委員 河西山一規
- 委員 河野裕保
- 委員 石崎久次
- 委員 樋田久儀
- 委員 山本夫

予算委員会

- 委員長 西山一規
- 副委員長 高橋時英
- 委員 正副委員長を除く全議員

市民目線を第1に考え、行動してまいります。



石崎久次 副議長

常に戦場にあるとの心を持って生き、事に処す。



河野裕保 議員

2期目に向けて、決意新たに頑張ります。



平家恭治 議員

議案等別表決一覧表

平成29年9月臨時会（会期：平成29年9月4日）

○：賛成、×：反対、－：退席、欠：欠席、除：除斥
（新宮康史議長は採決に加わっていません）

番号	件名(摘要)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	審議結果
		高橋時英	遠藤綾	菊池彰	西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	
選任第1号	常任委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長指名
	総務産業(遠藤綾・菊池彰・樋田都・新宮康史・上田浩志・井上和浩・宮本明裕・山本儀夫)																	
	民生文教(高橋時英・西山一規・佐々木加代子・竹内秀明・平家恭治・河野裕保・石崎久次・大山政司)																	
	予算(高橋時英・遠藤綾・菊池彰・西山一規・佐々木加代子・竹内秀明・平家恭治・河野裕保・石崎久次・樋田都・新宮康史・上田浩志・井上和浩・宮本明裕・山本儀夫・大山政司)																	
選任第2号	議会運営委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長指名
	西山一規・河野裕保・石崎久次・樋田都・上田浩志・山本儀夫・大山政司																	

平成29年9月定例会（会期：平成29年9月12日～平成29年10月4日）

認定第1号	平成28年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
認定第2号	平成28年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
認定第3号	平成28年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議のない旨答申
議案第58号	八幡浜港フェリー岸壁築造工事(その3)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	平成28年度市立八幡浜総合病院事業会計資本金の額の減少について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	八幡浜市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号	平成29年度八幡浜市一般会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	平成29年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号	平成29年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	平成29年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号	平成29年度八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号	平成29年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議長発議	決算審査特別委員会設置の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	決算審査特別委員会委員の選任																		指名推選
	委員長 平家恭治 副委員長 佐々木加代子 委員 高橋時英、遠藤綾、菊池彰、西山一規、竹内秀明、河野裕保、石崎久次、樋田都、上田浩志、井上和浩、宮本明裕、大山政司																		
請願第2号	避難計画を新規基準に盛り込み、審査期間中は、伊方原発3号機を停止することを求める意見書採択を求める請願	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	趣旨採択
同意案第9号	副市長の選任について	無記名投票 賛成15 反対0															原案同意		
議案第67号	平成29年度八幡浜市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
同意案第10号	監査委員の選任について	無記名投票 賛成14 反対0															除 原案同意		
議員提出議案第2号	地方の道路整備の推進に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第3号	八幡浜市議会活性化等特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	八幡浜市議会活性化等特別委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指名推選
	委員長 井上和浩 副委員長 山本儀夫 委員 高橋時英、西山一規、河野裕保、石崎久次、樋田都、宮本明裕、大山政司																		

議会を傍聴しませんか

次の定例会は12月に開かれます。
傍聴席は、八幡浜庁舎7階にあります。
傍聴席入口には、受付簿を置いてありますので、氏名、住所等をご記入のうえ、傍聴してください。



インターネット配信について

インターネットで、本会議(開会日、一般質問)の中継録画を配信しております。
八幡浜市議会ホームページからご覧ください。

八幡浜市議会ホームページは
こちらから



一般質問

5人が市政をたずす！

いじが聞きたい！

今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたずしました。

掲載は質問順で、質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

*会議録は、市議会ホームページ上 (<http://www.city.yawatahama.ehime.jp/sigikai/>)、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館でご覧になることができます。

質問者（質問順）	質問項目	ページ
高橋時英	① 八幡浜市の財政状況と今後の市政運営について	6
佐々木加代子	① 食品ロス削減に向けての取り組みについて ② ポイント制度の導入で健康づくりを推進	7
遠藤綾	① 原発について ② 地域間格差と公共交通サービスについて ③ 子育て支援について ④ 教育について	8
菊池彰	① 市道の改良について ② 旧青石中学校の利用について	9
河野裕保	① 猪被害の実態と防止策その成果について ② 保内総合児童センター（仮称）の建設及び運営等について	10

一般質問とは



一般質問とは、議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。また、議員が主義・主張を述べ提案し論戦します。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから、事前に質問内容を通告しています。

高橋時英議員

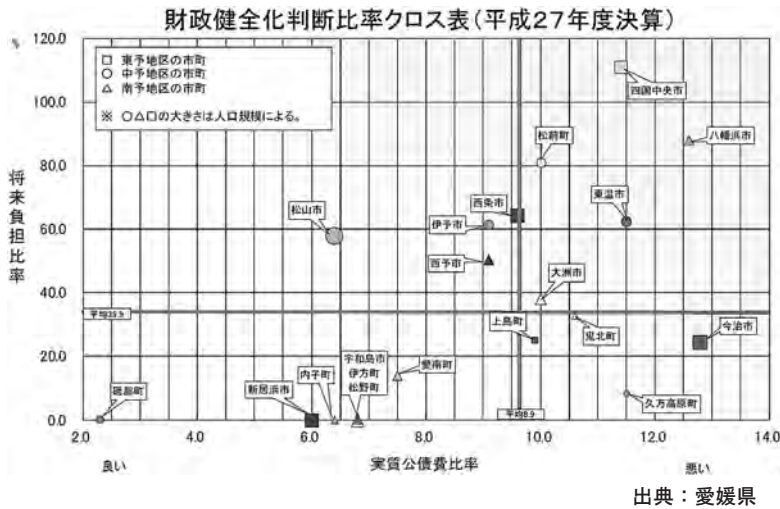


財政難、今後の市政運営は

市長

市議会・市民と議論しながら決定

問 平成28年度決算では経常収支比率は県下11市で最下位となっている。実質公債費比率と将来負担比率は10番目で、経常収支比率は市立病院や下水道事業への多額な繰出金などの構造的な要因



問 経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率について、県下最下位クラスだが、当市の分析はどうか。

県下最下位クラスの財政指標、自己分析は

答 平成28年度決算では経常収支比率は県下11市で最下位となっている。実質公債費比率と将来負担比率は10番目で、経常収支比率は市立病院や下水道事業への多額な繰出金などの構造的な要因

問 事業内容・予算規模・財源についてを伺いたい。

答 フェリー埠頭再整備事業は、約52億円の事業費の見込みで、財源内訳は、国及び市が10分の4、県が10分の2で、市負担分の約21億円は起債充当率100%、交付税措置率が70%の過疎債を活用する。

フェリーターミナルビル整備事業は、約10億円の事業費を見込んでおり、過疎債等を活用する。

防災行政無線デジタル化事業は、市単独事業で約20億円の事業費を見込み、起債充当率100%、交付税措置率70%の緊急防災・減災事業債を活用する。

大島交流拠点施設整備事業は市単独事業で、4千600万円の事業費の見

厳しい財政、今後の投資的事業計画は

によるものである。また、実質公債費比率や将来負担比率については、交付税措置率の高い過疎債や合併特例債などの活用を進めてきたため、総務省の定める早期健全化基準を大きく下回っているが、厳しい状況にあるということとを踏まえ、今後も経常経費の一層の節減等、財政状況を的確に分析した上で、健全な財政運営を目指す。

問 平成31年度に終了する、合併特例債の期限、都合に合わせた事業計画になっていないか。

答 合併特例債には、発行期限や発行限度額があるため、定められた条件の中で最大限有効活用するために、対象とする事業の精査、見直しは当然必要となるが、新市建設計画、総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って計画的に施策を実施していく。

問 駆け込み的な事業実施となっていないか

答 市民会館跡地利用及び川之石地区公民館兼交流拠点施設の整備については未定である。このほか、病院職員住宅建設事業、北浜公園再整備事業等も計画している。補助金、優良な起債を活用し、市議会での議論や、市民との話し合いをして政策決定をしたい。

込みで起債充当率100%、交付税措置率80%の辺地債を活用する。

市道双岩南久米線道路改良事業等の市道改良事業は、約11億円の事業費見込みで、国庫補助と起債充当率95%、交付税措置率が70%の合併特例債を活用する。

佐々木加代子 議員



さんまる いちまる
30・10運動の推進を

市長

自らが先頭に、実践をしていきたい

教育の面での食品ロス削減の取り組みは

問 学校や幼稚園等での学校給食や食育、環境教育などを通して、食品ロス削減のために啓発を進めるべきだと思いますが、どのように考えているか。

答 学校給食における食品ロス削減の取り組みとして、食育月間、食育の日、学校給食週間等を利用した啓発、給食だよりを通じた学校、家庭との連携を図っている。また、給食センターの見学や職場体験、学校給食のアンケートを実施して嗜好調査を行い、食品ロスへの取り組みを進めている。各学校では、食育は教育の一環であり、食べることは生きることという趣旨の下、植物の栽培体験、暮らしやリサイクル等の食育に関わる学習を進めている。

今後についても具体的、継続的に指導を通じて理解を深め、実践に繋がる力を育てていきたい。

食品ロス削減のため、30・10運動の推進を

問 長野県松本市では宴会での食べ残しを減らすために、乾杯の後30分と終了前の10分は、自分の席で食事を楽しむという30・10運動を推進している。

すぐに始められる食品ロス削減対策ではないかと思うがどうか。

答 30・10運動については、すぐに始められる運動であり、市のホームページや広報で周知を行い、親睦会などの会食時における食べ残しを減らし、ゴミの減量化・食品ロスの削減に向け、私自ら先頭に実践して、家庭・地域・企業に広げていきたい。



出典：長野県松本市

ポイント制度の導入で健康作りの推進を

問 高齢者の健康増進や生きがいづくり、介護予防にもつながる高齢者ボランティアポイント制度。元気な高齢者の社会参加や地域貢献を促すポイント制度の導入を要望したいがどうか。

答 当市は介護職不足が懸念されてお

り、地域支え合い第一層協議体においてボランティアを活用した事業を展開し、不足する介護職の代替ができないか協議している。導入の際には、現金による費用弁償だけではなくポイント制度も選択肢の一つとして検討したい。

問 全国各地で健康づくりの動機付けとなる健康マイレージ制度が始まっている。八幡浜市においても健康に関する諸行事への参加や取り組みに対してポイントを付与することで、市民の皆さまの健康増進と町の活性化にもつながる健康マイレージ制度の導入を考えたほうがいいがどうか。

答 八幡浜市では、市民の健康づくりの動機付け施策として、ウォーキングマップ「はまウォーク」を作成し、運動習慣を身につける啓発活動を行っている。また、健康づくりイベント、健康フェスタin八幡浜の開催や、市民への正しい知識の普及啓発と検診の受診、生活習慣の改善、健康づくりの意識向上を図る取り組みを行っている。

健康マイレージ制度については、大変興味深く、他自治体の取り組みを調査研究しているところであるが、事業開始に向けて検討が必要な点が多くあり、これらの課題を検討した上で実施するかどうかを判断していきたい。

遠藤綾
議員



交通弱者の移動手段を

企画財政部長

市全体の公共交通を検討したい

核の最終処分場・原発の安全性・市の意思決定のあり方について

問 経済産業省が、核のゴミの最終処分地に適した地域を発表した。その中に、当市も含まれていたが、どのように考えるか。

答 蜜柑と魚を主産業とし、山が海に接し平地が少ない当市には、処分地の設置は適当ではないと考えている。

問 伊方原発の安全性について、基準地震動など、基準が甘いとの専門家の声もあるが、安全性をどう考えているか。

答 原子力規制委員会等の専門的な判断を信頼しつつ、安全対策に終わりはしないとの考えのもと、基準の見直しがされた場合等には、真摯に対応するよう四国電力に求めていきたい。

問 伊方原発3号機再稼働や、1号機の廃止措置に関する説明会が行われた。市議や、市が選んだ各種団体の代表者だけでなく、有識者というなら、原発反対運動をしている市民グループからも、参加をさせるべきではないか。

答 出席者に記述式のアンケートを行い全て内容を公表している。市としては意思決定の手続きとしては今のところベストなやり方だと思っている。

公共交通の拡充と地域間格差について

問 市の中心街から離れた地域の高齢者等は、公共交通の需要が高い。遠隔地の福祉タクシー券の増額、乗合タクシーを他の地域にも拡充してほしい。また、JR八幡浜駅にエレベーターの設置の要望が多いが、どう考えるか？

答 福祉タクシー券は、外出のきっかけづくりの制度であり、増額は今のところ考えていない。高齢者等の支援に優先順位をつけ検討していきたい。乗り合いタクシーも含め、市全体の公共交通のあり方を検討していきたい。エレベーター設置についてはJRに要望を伝えたい。



中学卒業までの医療費無料化について

問 中学卒業まで、子供の医療費を完全無料化するべきではないか？

答 既に無料化した歯科治療を除き、中学までの無料化は約5千200万円かかる。国のペナルティとして国庫補助金の減少にもなる。財源が最大の問題。今後も熟考していきたい。



道徳の教科化と、その評価について

問 道徳の教科化が、来年度小学校、再来年度中学校にて行われる。どのような教育を目指し、どう評価するのか。

答 特定の価値観を押し付けず、内容的な自覚を促す指導方法の工夫に努める。評価は点数化せず、年間通しての学ぶ姿を、個人内評価する。

菊池
彰
議員



狭小な避難路の改良を

市長

市の重要課題と認識している

安心安全な暮らしを

問 日土町から八幡浜市内への行き帰りは県道長浜保内線磯岡地区、市道今井線を通行している。南海トラフ巨大地震の発生、万が一の原発事故も鑑み人命の確保は重要と考える。改良予定はどうかっているのか。

答 磯岡地区における県道長浜保内線、市道今井線は極めて狭く、車両の離合が困難であることから、自主的なルールのもと、一方通行の道路として利用していただいております。改良については市の重要課題だと認識をしています。県土木部長に対して早期改修の要望をしており、日土橋からAコープ喜須来店までについても幅員も狭いことから県においては予備設計は終了しており、さらに協議を進めたいと考えています。

一方通行規制の実施は出来ないか

問 市道今井線は地元住民の暗黙の了解のもと、一方通行で利用している。近年、日土町では重要文化財である日土小学校の見学会、旧日土東小学校校庭を利用したマルシェなど交流人口は増加している。帰路に市道今井線を利用される方もおり、重大事故につながる

る恐れもあることから、一方通行規制ができないか。

答 一方通行規制については、警察との協議、判断によるが日土橋と市道今井線の交差点が狭小な為に、観光バスなどの大型車は通行出来ない場合があり、一方通行規制は難しいと判断している。



問 規制が難しいのであれば、行政で看板設置、案内標識板等、事故を防げるような施策はできないか。

答 日土方面、八幡浜市内方面というような案内表示板の設置については、河川、道路の管理者である県との協議が必要になるが、設置することは可能であると判断しているので、前向きに検討したい。

旧青石中学校の利用は

問 今年3月に52年の輝かしい歴史に終止符を打ち、青石中学校は保内中学校に統合された。跡地の活用はどのように考えているのか。

また、耐震改修工事をして校舎を再利用する考えはあるのか。

答 旧青石中学校の用地は市が約40%、個人の所有地が約60%であり、建設当時から借地となっている。現在11名の地権者の方と買収について協議中であり、買収の見通しが立った段階で、地元の理解をいただきながら跡地利用について考えていきたい。

また、校舎については50年経つので雨漏り等の老朽化が進行しており、今のところ、耐震工事を行って使用するのは難しいと考えているが、どうするかは今後検討していきたい。



旧 青石中学校校舎

河野裕保議員



いのしし

猪被害の実態とその防止策は

農林課長

情報共有・連絡体制を強化し、迅速に対応する

いつの頃から猪被害が出始め、増えたのか

問 本市の猪による農作物の被害が顕著に現れ始めたのはいつ頃か。また、猪が増えてきた原因をどのように捉えているか。

答 愛媛県が平成22年に実施した猪の生息、及び被害の発生時期についてのアンケート調査によると、平成になっての回答が最も多く、平成5年あたりから被害が増え始めたところである。

猪が増えた原因は、耕作放棄地の増加、中山間地域における農林業の衰退、過疎化に伴う人間活動の減少等が挙げられる。



有害鳥獣による農作物の被害額は

問 柑橘、落葉果樹、野菜、米麦等の

年間被害額の推移はどうか。そのうち、猪による被害額はどうなっているか。

答 市・県・JAによる農家への聞き取り等によると、猪、ハクビシン、狸等の被害額は、平成10年前後から平成28年までの間、毎年約1千850万円程度である。そのうち、猪による被害額は毎年1千400万円程度と推定している。



問 愛媛県が指定する捕獲延長期間、及び猟期外（4月1日～10月31日）における種別ごとの捕獲数はどのようになっているか。

答 また、捕獲奨励金の実績はどうか。
平成28年度の実績は、猪1千頭、ハクビシン89頭、狸177頭、カラス50羽、ヒヨドリ64羽、鹿1頭であり、有害鳥獣捕獲奨励金の支給実績は816万円である。

猪による人的被害の防止策等は

問 平成28年2月、市内に住む男性が、果樹園で猪らしき動物に襲われ亡くなった。

また、市街地でも、同時期に女性が猪に咬まれて怪我をされている。市は直ちに緊急対策会議を開いているが、解決策は見つかったのか。市民の安全・安心は守られるのか。

答 本件事故直後に、猟友会に依頼して事故現場付近で山狩りを行い、体長145cmの雄の大型猪を捕獲した。その後、県、警察、消防、猟友会など関係機関による緊急対策会議を実施した。市街地に猪が出没した場合は、市や警察によるパトロールを行い、市民への注意喚起、猟友会への捕獲依頼などにより対応する。人的被害が出る前に、迅速に対応する必要があるため、今後各関係機関との情報共有を図り、連絡体制の強化に努める。

また、1頭当たり単価は猪・鹿1万円、狸・ハクビシンは3千円であるが、猪・鹿は平成28年10月までは5千円であり、猪成獣1頭当たりの補助金は、県、JA、市を合わせると2万500円となる。

八幡浜市フェリー岸壁建造工事 (MGC)請負契約の締結について

総務産業委員長 樋田 都

説明 8月8日、「八幡浜港フェリー岸壁建造工事(その3)」の一般競争入札を執行し、請負金額8億1千324万円、堀田建設株式会社が、落札率91.8%で落札したため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めるものである。

問 今回の落札結果について、担当課としてはどのように考えているのか
答 昨年度の一般競争入札の平均が96.4%であること等に鑑みれば、妥当と考える。

問 港湾事業は海面下の工事が多く、投資額が巨大な割には、目にふれる機会が少ないことから、市民にとってはその採算性、重要性の実感が薄いのではないか。

答 市の実質負担額は約6億円であるのに対し、フェリー会社2社から毎年1億円以上の収入があること等から、費用対効果で考えれば、採算性はある。

また、市税の増収や、他の事業展開につながることを市長を囲む会などでも説明してきているが、今後も引き続き、採算性・重要性を市民にご理解頂く努力をしていきたい。

市立八幡浜総合病院事業会計 資本金の額の減少について

民生文教委員長 河野裕保

説明 平成28年度決算において病院改築事業による特別な経費として、建物や構築物の除却に伴い、それらに含まれる補助金等の長期前受金である特別利益と固定資産除却損である特別損失の差額1億2千688万5千329円を資本金から減じ、未処理欠損金当年度末残高に補填するものである。

問 これまでも同様に議決を経て減資をしているが、その内容を伺う。

答 病院改築事業は平成24年度より始まり、改築に伴う資本金の減少をしている。平成24年度に看護師寮を除却したことで約2千万円、平成25年度には第2病棟の除却で約8千500万円、平成27年度に第1病棟、中央診療棟、CT、管理棟等で約4億1千万円、今回、外来診療棟、自転車置き場や塀等の除却となっており、合計で6億4千551万8千805円となる。

問 今後も減資の予定はあるのか。

答 平成29年3月の駐車場工事の完成で全ての病院改築事業が終了したため、改築事業に伴う減資は基本的には無い。

消防団員への編み上げ靴 早急に支給を

予算委員長 西山一規

看護師養成施設立地可能性調査業務委託料について

問 この業務の具体的な内容について伺いたい。

答 看護師不足解消に加えてまちづくりの視点からも、市内及び近隣の若者が進学できる学校を設立して、まちの活性化につながるため、まず、近隣の看護師養成施設の状況や、教員などスタッフの確保、学生や医療機関等のニーズ、経済効果、地域のメリットなど、立地可能性の調査を行うものである。

問 八幡浜での学校設立は、地域にとって非常に明るい材料である。実現の可能性は高いのか。

答 可能性の調査であるため、できない場合も想定している。この調査結果をもとに、立地可能かどうか判断をする。

消防団員安全装備品整備等助成事業について

問 平成23年度より、編み上げ靴が消防団員に毎年約60足ずつ支給されているが、全団員への支給は平成34年頃まで掛かる状況である。安全のための装

備でもあり、また、一般財源からは3千円のみ支出しかされていないことから、不足分を早急に支給できるように予算を組めないのか。

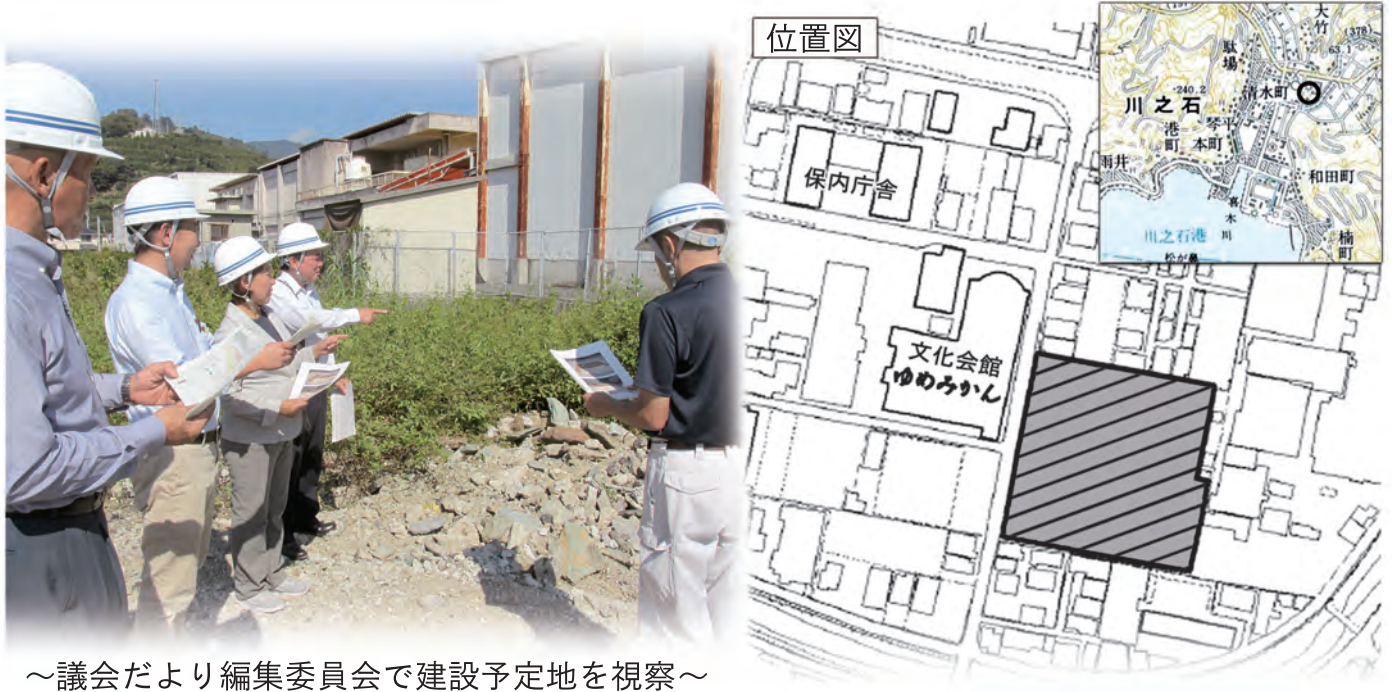
答 これは、消防団員の公務災害補償等共済基金の100%助成事業により、市の負担なしに順次購入し支給している。支給開始から今年度で7年目となるが、現在の消防団員が今年4月2日現在で735名であり、まだ全団員の半数を少し越えたところである。

要望には応えたい気持ちはあるが、現段階では財政状況が厳しく、市の負担のない方法で続けていくこととなっている。今後、検討したい。



要望 近隣自治体では、全団員同時に一括支給しているところもある。ぜひ、前向きな検討をお願いする。

八幡浜市保内総合児童センター(仮称) 建設予定地を視察



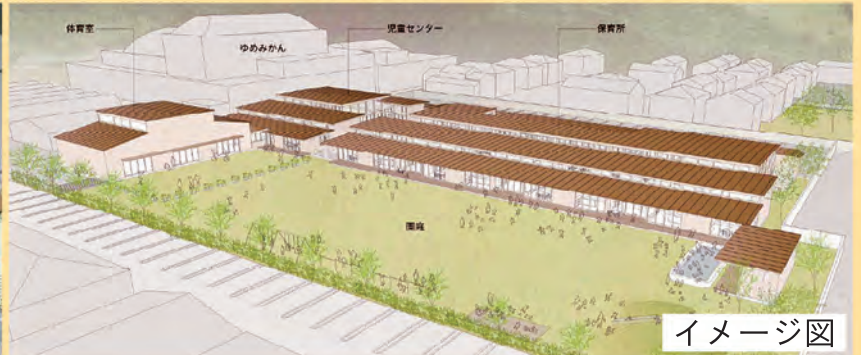
～議会だより編集委員会で建設予定地を視察～

最優秀作品が決定

子供を見守り、より支援しやすい施設に！



模型



イメージ図

平成 30 年度建設工事着手、平成 31 年 4 月供用開始を予定

編集後記

8月の選挙後、初めての議会を迎え、様々な議案が議決されました。

議会の内容を市民の皆様にもそのまま伝える方法としては、傍聴、CATVでの議会放送、インターネット動画配信(CATVと同一)、会議録(議事録)があります。

そして、内容を要約して編集したものが「議会だより」です。少しでも多くの市民の皆様、議会を身近に感じていただけるよう、わかりやすく読みやすく編集して参りますので、どうかよろしく願いたします。

《議会だより編集委員会》

委員 長	西 山 一 規
副委員 長	菊 池 彰 彰
委 員	高 橋 時 英
“ ”	遠 藤 綾
“ ”	佐 々 木 加 代 子
“ ”	石 崎 久 次
“ ”	樋 田 都

八幡浜市議会事務局
TEL (代) 22・3111

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会

検索



「やわたはま議会だより」は、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。